




# 第2期高萩市創生総合戦略

2021➤2025

- 改訂版 -  
令和3年11月





# 目次

<b>第1章 基本的な考え方</b> .....	<b>1</b>
1 策定方針 .....	1
2 高萩市創生総合戦略の位置づけ .....	1
3 戦略の期間 .....	1
4 効果検証の仕組み .....	2
5 第1期高萩市創生総合戦略の検証 .....	2
6 市民等の意向 .....	4
<b>第2章 施策体系</b> .....	<b>6</b>
1 基本目標 .....	6
2 施策の設定 .....	6
3 高萩市創生総合戦略とSDGs .....	6
4 施策体系図 .....	7
<b>第3章 具体的な施策</b> .....	<b>9</b>
基本目標 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする .....	9
基本目標 2 高萩市への新しい人の流れをつくる .....	15
基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる .....	21
基本目標 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる .....	27
<b>参考資料</b> .....	<b>33</b>
1 若年層の定住に関するアンケート調査結果 .....	33
2 「みんなで語ろう！高萩の未来」ワークショップ報告書 .....	42

# 第1章 基本的な考え方

## 1 策定方針

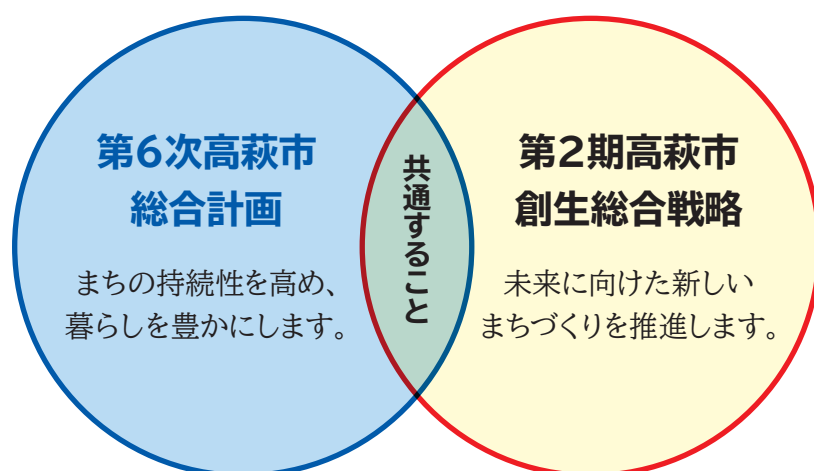
高萩市(以下「本市」という。)では、平成27年(2015年)10月に「高萩市人口ビジョン」で示した将来展望の達成を目標に、本市における人口減少と地域経済縮小の克服及びまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のための「第1期高萩市創生総合戦略」(以下「前戦略」という。)を策定しました。これまでこの前戦略のもと、高萩市総合計画(以下「総合計画」という。)をはじめとする各種計画との整合性を図りながら、人口減少対策に重点を置いた各種施策に取り組み、その成果と課題を検証してきたところです。しかしながら、「高萩市人口ビジョン(令和3年(2021年)3月策定)」で示したとおり、自然減と社会減の両方を起因とした本市の人口減少は、さらに進行している現状にあります。

このことから、「第2期高萩市創生総合戦略」(以下「本戦略」という。)では、持続可能な地域づくりを担っていく人、そしてその人の暮らしを支えるしごと、さらに人と人をつなぐコミュニティを重要施策として、引き続き人口減少と少子高齢化への対応に取り組んでまいります。

今期においては、特に地域を支える力「地域力」に着目し、地域力の向上に取り組むとともに、本市との関わりを持つ人々(関係人口)による「高萩で…」「高萩から…」「高萩に…」など、仕事や生活、趣味など多種多様な形で“高萩”と繋がる新たな人の流れをつくり、高萩らしい地方創生を目指してまいります。

## 2 高萩市創生総合戦略の位置づけ

総合計画(最上位計画)が、まちの持続性を高め、市民が豊かさを実感できるようにするための計画とするならば、本戦略は、人口減少対策と地方創生に特化した未来に向けた新しいまちづくりを推進していくための計画です。



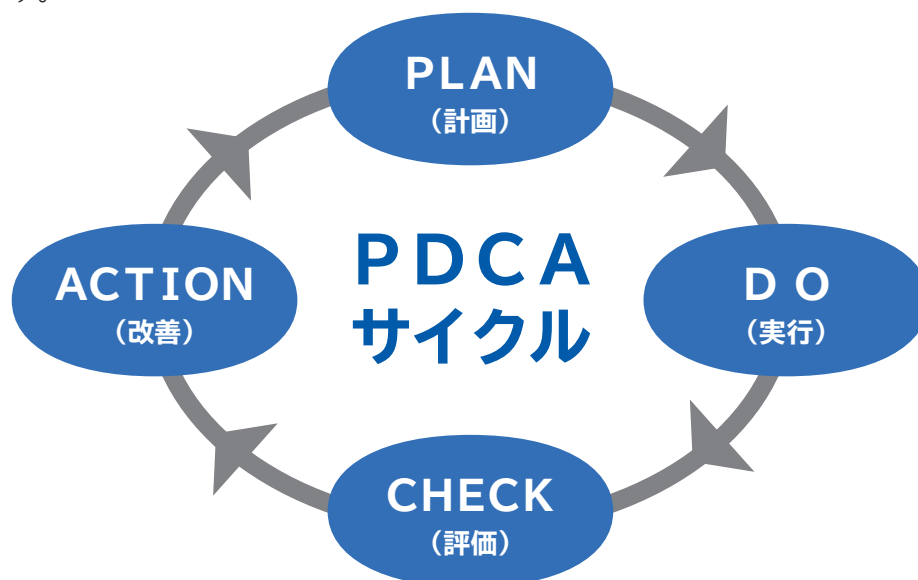
## 3 戦略の期間

本戦略の計画期間は、令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの5年間とします。

## 4 効果検証の仕組み

施策目標を達成するため、本戦略に位置付けた施策や取組について、毎年度、PDCAサイクルによる進行管理を行います。

さらに、社会情勢の変化や住民代表及び産官学金労言士<sup>※1</sup>の関係者で構成する「高萩市まち・ひと・しごと創生有識者会議」の検証結果を踏まえて、目標達成に必要な施策や取組の改善等を図ります。



## 5 第1期高萩市創生総合戦略の検証

### (1)重要業績評価指標(KPI)<sup>※2</sup>の達成状況

前戦略の基本目標に対するKPIの達成状況は、基本目標2「高萩市への新しい人の流れをつくる」のKPIである「交流人口(観光入込客数)」が平成28年度(2016年度)に年間32.8万人に伸びましたが、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、目標の達成が厳しい状況となっています。また、基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現」のKPIである「合計特殊出生率」は、平成25年(2013年)から平成29年(2017年)の値が1.36で平成20年(2008年)から平成24年(2012年)の値である1.30より上昇しましたが、国や県の値よりも低い状況です。ほかの基本目標についても、KPIの達成状況は思わしくなく、現状打破には至っていない状況です。

また、具体的な事業(39事業)に対するKPI(42指標)では、基本目標4「人口減少・高齢化に対応したまちづくり」の達成率が61.5%で一番高く、基本目標1「内発型の産業育成・支援による新しい雇用創出」の達成率が37.5%で一番低い結果となり、全体の達成率は50%に留まっています。

※1 産官学金労言士とは、産業界、官公庁、大学、金融機関、労働団体、言論界、士業を表す。

※2 重要業績評価指標(KPI)とは、「Key Performance Indicator」の略で、目標達成のための各プロセスにおいて、達成度合いの計測と評価をするための指標のこと。

## (2)前戦略における主な重要業績評価指標(KPI)の検証

### 基本目標1 内発型の産業育成・支援による新しい雇用創出

目標内容	目標期間	基準値	目標値	実績値
新規事業所の開設による雇用者数	H29～R2	H21～H24 398人	540人	557人
新規就農者数(農業次世代人材 投資資金補助対象者)	R2	H26:2人	7人	4人

### 基本目標2 高萩市への新しい人の流れをつくる

目標内容	目標期間	基準値	目標値	実績値
転出超過(転出者数－転入者数)	H27～R2	H22～H26 平均185人	平均80人	平均209人
交流人口(観光入込客数)	R2	H26:31万人	40万人	29.6万人

### 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現

目標内容	目標期間	基準値	目標値	実績値
20～39歳有配偶率の向上	R2	H22:40%	45%	39.9%
合計特殊出生率の向上	H25～H29	H20～H24 1.30	1.45	1.36
確かな学力の定着(県学力診断 テストの県平均と市平均の差)	R2	H26:-1.37	+0.5	-3.2

### 基本目標4 人口減少・高齢化に対応したまちづくり

目標内容	目標期間	基準値	目標値	実績値
市民と協働により実施された 事業数	R2	H26:14事業	20事業	15事業
市民と行政が適切に役割分担し、協力 してまちづくりをしていると思う割合	R2	H26:43.2%	60%	24.4%

## 6 市民等の意向

### (1) 若年層の定住に関するアンケート調査結果(一部)

#### ① シビックプライドの醸成

##### 【現況】

アンケートの結果において、本市に対する愛着度は「愛着をやや感じている」(43.4%)が最も多く、以下「愛着を感じている」(25.8%)、「愛着をあまり感じていない」(22.4%)の順となっており、愛着を感じている割合は、回答の約7割を占めています。

##### 【考察】

本市への愛着を感じていない人の割合は、回答の約3割となっていることから、これらの市民が高萩に愛着を持ち、まちへの誇りを感じられるよう「シビックプライドの醸成」に取り組む必要があるといえます。

#### ② 拠点づくりとまちのリノベーション(再編)

##### 【現況】

若年層が感じている本市に足りない要素は、「駅周辺の店舗(飲食店、娯楽施設など)」(65.1%)が最も多く、以下「買い物の場所(ショッピングセンターなど)」(61.4%)、「レジャー施設」(30.5%)、「若い人が働く場」(25.1%)、「観光地や施設」(20.0%)の順となっています。

##### 【考察】

駅周辺の店舗や買い物の場所など賑わいを創出する場が求められているため、利便性が高い公共交通を利用した拠点づくりと未来に向けたまちのリノベーション(再編)に取り組む必要があるといえます。

#### ③ 定住志向と未来のまちづくりへの挑戦

##### 【現況】

若年層の本市への定住志向は、「将来は高萩市に住みたくない」(49.5%)が最も多く、以下「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」(26.1%)、「将来も高萩市に住みたいし、住むつもり」(24.1%)の順となっています。

また、将来は本市に「住みたくない」「住むつもりはない」と回答した理由については、「自分のやりたい仕事が高萩市にないから」(53.4%)が最も多く、続いて「商業施設やレジャー施設に魅力がないから」(40.4%)、「もっと都会に住んでみたいから」(34.1%)の順となっています。

##### 【考察】

定住志向の低さは、若者にとって魅力的な仕事が少ないことや働く場の確保が難しいこと、買い物などの余暇消費の場の不足などが要因となっています。今後は、Society5.0(ソサエティ5.0)<sup>\*1</sup>が描く社会の実現に向けた未来のまちづくりへの挑戦が求められます。

一方で、定住を志向する理由としては、「風土や生活に慣れているから」(61.5%)、「両親や親戚の近くで、又は実家で一緒に暮らしたいから」(39.2%)などがあげられています。こうした本市に縁や愛着のある市民に着目し、地域力を高める取組が必要であるといえます。

※ 1 Society5.0とは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、科学技術イノベーションにより生み出される変革による新たな社会のこと。

## (2) 学生ワークショップ、有識者委員の意見を踏まえて見えてきた課題

### ① 高萩市の特徴・評価

- 山・川・海など本市を代表する自然環境の評価が高くなっていることに加え、「ダム」や「山間地域」、「桜」など地域資源やイベント等に対する評価も高くなっています。
- 「人」とのつながりに対する高い評価や電車を利用する学生ならではの意見として、高萩が終着駅であることによる電車本数の多さをメリットとしています。
- バス利便性の評価が低く、自動車を運転できない若い世代の悩みの実態が明らかになりました。
- 空き家や空き地、商店街のシャッターの多さなど、活気のなさを感じていることが推察されます。

### ② 住み続けたい・帰りたい・誇りに思えるまちにするために改善すべきこと

- 駅近くに遊ぶ所(カフェ、カラオケ、映画館など)のニーズの高さや、空き家や空き地の利用方法についての意見が挙げられました。
- イベントを盛り上げるために自分たちにできることや効果的な情報発信は、若者との協働により現代社会に対応できる可能性があります。
- 学生として協力できる子育て支援や、移動手段としてのバスの充実など、高萩に住み続けたい・帰りたい・誇りに思えるまちにするために改善すべきことが数多く挙げられました。
- 整備のされていない歩道や道路、街灯などの場所を特定した対策が求められています。
- 若い世代に届く情報発信の手段や方法等の対策が求められています。
- 情報価値が劣化されにくい媒体と情報の拡散を狙うメディアを活用する広報戦略が重要です。
- 企業の経営資源(ヒト・モノ・情報)に着目し、地域課題解決策を検討する必要があります。

### ③ キーワード

#### 【自然】

- どういった自然が売りなのか? 「花貫」は有名
- 「ふるさとワーキングホリデー」をやっている所は、関東で東京しかない。長期休暇等を利用することで、観光よりも深く地域を知ることができる。
- ツーリングの人たちは、地元のラジオを聴きたい。ラジオは移動コンテンツの一つで、地元の情報(美味しいお店、地域のイベント)を得る手段なので、道路看板にMHz案内があると良い。

## 複合させることが大事

自然+歴史、民泊+アウトドア、自然+アクティビティ等

#### 【施設】

- 森林公園は、自然の中で遊べて良い。
- 体験型をさらに充実させると良い。
- 近場の親子連れを対象→自販機の品揃えを増やす。
- 親子体験型。施設整備などの品質向上
- 若い人たちのニーズとして、都市型公園もある。

#### 【歴史】

- 自然+歴史ゲームなどの組合せ
- 炭鉱を活かしてプラタモリ風なものや専門家によるイベント
- 市全体をウォークラリー会場と捉えて、まち歩き型リアルゲームを仕掛ける。
- 茨城大学にウォークラリーサークルがあるので、学生と共同作成もできる。



# 第2章 施策体系

## 1 基本目標

人口ビジョンで示したとおり、本市の人口減少は若者世代を中心に減少傾向が進行しています。人口減少は産業、雇用、コミュニティ、地域交通、行財政など様々な分野に悪影響を及ぼすおそれがあることから、戦略的に人口減少を抑制し、安定させることを目指します。

基本目標は、国が示す4つの基本目標を踏まえ、「稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする」、「高萩市への新しい人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」とし、それぞれの基本目標に「多様な人材を活用する」、「新しい時代の流れを力にする」の2つの横断的な目標を加えて、地方創生の取組を加速するものとします。

## 2 施策の設定

4つの基本目標と2つの横断的目標のもと、重点的に取り組んでいく施策を8項目に分類し、さらに21の具体的施策を提示します。

## 3 高萩市創生総合戦略とSDGs

SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題に統合的に取り組むもので、「すべての人に健康と福祉を」、「働きがいも、経済成長も」、「住み続けられるまちづくりを」など17の目標が掲げられています。

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組を推進するにあたり、SDGsの理念を取り入れることで、政策全体の最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待でき、地方創生の取組の充実と深化につなげます。



## 4 施策体系図

横断的な目標1

多様な人材の活用を推進する

- 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- 誰もが活躍する地域社会の推進

### 基本目標

### 施策項目

#### 【基本目標1】

稼ぐ地域をつくとともに、  
安心して働けるようにする

(1)事業者誘致等の推進と創業支援

(2)就業促進と雇用創出

#### 【基本目標2】

高萩市への  
新しい人の流れをつくる

(1)交流人口の拡大と関係人口の創出

(2)移住・定住の推進

#### 【基本目標3】

結婚・出産・子育ての  
希望をかなえる

(1)出会い・結婚・出産・子育て支援

(2)魅力ある教育環境の提供

#### 【基本目標4】

ひとが集う、安心して  
暮らすことができる  
魅力的な地域をつくる

(1)安心・快適な生活環境の整備

(2)新たなコミュニティスタイルの形成

## 横断的な目標2

## 新しい時代の流れを力にする

➤ 地域におけるSociety5.0の推進

➤ 地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

## 具体的施策

- ① 創業しやすい土壌づくり
- ② 地域資源を活かした新たな事業支援
- ③ 事業者誘致の推進と既存企業拡大(増設)への支援

- ① 次世代につなぐ後継者・担い手の確保・育成
- ② 雇用のミスマッチ解消による就業促進
- ③ 誰もが活躍できる雇用創出と就業促進

- ① 地域資源を活用した交流人口の拡大と関係人口の創出
- ② 多様なライフスタイルに対応した二地域居住推進
- ③ 情報発信ツールの充実【新規】

- ① 空き家等(既存ストック)の利活用による住まいの創出と新たな利用促進
- ② 魅力的な住環境の確保による移住・定住促進
- ③ 若者の定着とU I J ターンの促進

- ① 出会いから結婚・妊娠・出産への支援
- ② ライフステージに応じた子育てしやすい環境づくり

- ① 子どもを地域全体で支える環境づくり
- ② 次世代を担う力を培う教育の推進
- ③ シビックプライド(郷土愛)を育む教育の推進

- ① 防災・防犯対策の推進
- ② 安心して必要な医療が受けられる環境の整備
- ③ 新たな公共交通サービスの推進

- ① ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり
- ② 地域コミュニティ活性化等による市民協働のまちづくり

# 第3章 具体的な施策

## 基本目標 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする



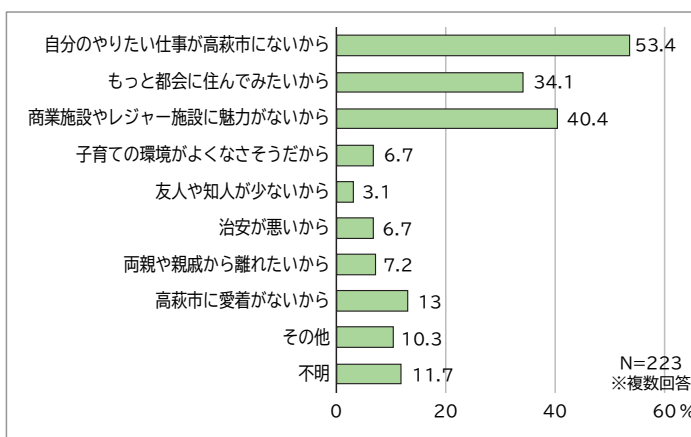
### 1 基本方針

#### 【現状と課題】

#### ● 若者は仕事の選択肢を求めている

- ・若年層アンケートによると、買い物やレジャー等の施設の魅力以外に、働く場や就職に関する支援策が求められています。また、定住意向がない若者の半数以上が、「やりたい仕事が高萩市にない」と回答しています。
- ・若者の流出抑制とU I J ターン促進のため、事業者誘致の推進と地元産業の振興など、雇用機会の確保や創出につなげる必要があります。

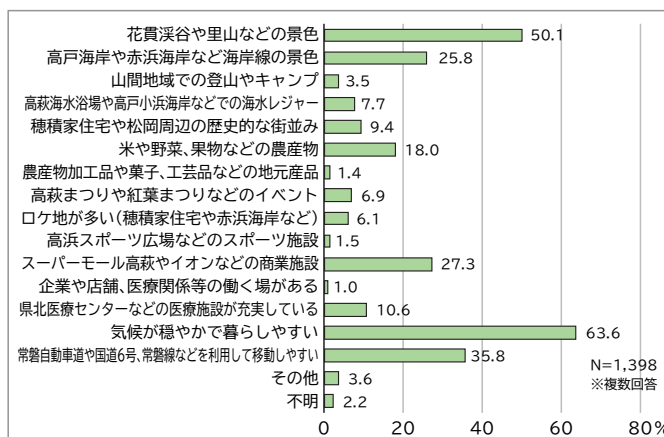
「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」又は「将来は高萩市に住みたくない」と回答した理由  
※若年層の定住に関するアンケート調査結果



#### ● 地域資源を有効活用することが重要

- ・市民アンケートと若年層アンケートで共通している本市の魅力である「自然」を今後のまちづくりや仕事に活かし、「稼ぐ地域をつくる」必要があります。
- ・誰もが活躍できる雇用創出とワークライフバランスの推進による地域社会の実現が重要です。

「あなたは、高萩市の良いところは何かと思いますか。」という設問に対する回答結果 ※市民アンケート調査結果



#### 【施策の方向性】

- 本市の地域資源を活用した起業に向けた機運を醸成し、新たな起業支援やチャレンジできる環境づくりに取り組みます。
- 地域経済の活性化を図るため、事業者誘致の推進と市内事業者による事業拡大等に対して支援します。
- 誰もが希望に応じて働きやすい環境を整備し、ライフスタイルやワークスタイルを踏まえた就労支援に取り組みます。

## 2 数値目標

重要業績評価指標(KPI)	基準値※ (R2)	目標値 (R7)
本市の支援制度を活用した新規創業者数	年間1人	10人 (5カ年累計)

※基準値とは、目標値を設定する時点において把握できる直近の数値であり、基準となる数値のこと。



地域資源(ダム)を活用した体験型アクティビティ    ボートクルーズ & ヨガ



地域資源(古民家)を活用した民泊



ハローワーク高萩との連携による  
「子育て中の方のための再就職支援セミナー」



「高校生向けの企業説明会」

### 3 施策項目

#### (1) 事業者誘致等の推進と創業支援

##### 具体的施策

##### ① 創業しやすい土壌づくり

創業のための起業塾の開催やビジネスモデルの構築、資金調達など創業に必要な要素に応じての相談等、関係機関と連携し、効果的な創業のための基盤となる土壌づくりを推進します。

##### 主な取組

- 創業に関する経営、財務、販路拡大等のスキルアップのための起業塾を開催するとともに創業に要する費用を支援します。〔観光商工課〕
- 創業に関する包括的な支援をするため、創業支援ワンストップ相談窓口を開設します。〔観光商工課〕
- まちなか創業オフィスを活用した新規創業者の開業を支援します。〔観光商工課〕

##### 具体的施策

##### ② 地域資源を活かした新たな事業支援

本市の豊かな自然等の地域資源を活用した新たな起業支援や、地域の特性を活かした農産物や加工品の開発・ブランド化の取組を推進します。

##### 主な取組

- 創業プランコンテストにより、地域資源を活用したビジネスプランの起業を促進します。〔観光商工課〕
- **新規** 地域資源(空き家、空き店舗等)を活用した新たなビジネスを興すための開発と起業を支援します。〔観光商工課・地方創生課〕
- 山間地域における農産物等の販売を促進します。〔農林課〕
- 花貫物産センターの持続可能な運営体制を構築します。〔農林課〕

## 具体的施策

### ③ 事業者誘致の推進と既存企業拡大(増設)への支援

若者の流出抑制と地域経済の活性化を図るため、未利用地を活用した事業者誘致の推進と地元企業の事業拡大等の取組を支援します。

## 主な取組

- 未利用地を活用した事業者の進出や新たな分野の事業者誘致を推進します。  
[企画広報課]
- **拡充** 地元事業者の事業拡大等の取組を支援します。 [企画広報課]
- 市街地空洞化防止等を踏まえ、公共施設の再配置や民間機能の誘導を推進します。  
[都市整備課、財政課、企画広報課]

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
創業支援者数	12人	100人 (5カ年累計)
年間商品販売額 <sup>※1</sup>	291億円	291億円
製造品出荷額 <sup>※2</sup>	1,242億円	1,367億円

※ 1 総務省統計局、経済産業省「経済センサス-活動調査」、経済産業省「商業統計調査」(H28)

※ 2 経済産業省「工業統計調査」、総務省統計局、経済産業省「経済センサス-活動調査」(H28)

## (2)就業促進と雇用創出

### 具体的施策

#### ① 次世代につなぐ後継者・担い手の確保・育成

各産業における事業継承を図るため、後継者の確保や新たな担い手づくりを支援し、時代に即した多様な働き方を推進します。

### 主な取組

- **新規** リモートワークやワーケーション、シェアオフィス等の多様な働き方を推進するための検討をします。〔観光商工課・地方創生課〕
- 次世代のリーダー人材の育成や働き方改革などの取組を促進します。  
〔観光商工課・地方創生課〕
- 農業・林業の担い手確保と人材育成に取り組みます。〔農林課〕
- 新たな地域活性化の担い手確保のため、地域外の人材を地域おこし協力隊として委嘱します。〔地方創生課〕

### 具体的施策

#### ② 雇用のミスマッチ解消による就業促進

雇用のミスマッチが生じている職種への就業につなげるため、仕事内容や事業者PR等を推進し、就業を促進します。

### 主な取組

- ハローワーク高萩や高等学校との連携による就職面接会を開催し、求職者と事業者のマッチング支援に取り組みます。〔観光商工課〕
- **拡充** 介護事業者との連携による職場のPR促進や介護人材のマッチング支援策などに取り組みます。〔高齢福祉課〕



## 具体的施策

### ③ 誰もが活躍できる雇用創出と就業促進

年齢、性別、障がい等にかかわらず、誰もが活躍できるダイバーシティを実現するため、働きやすい環境整備や就労支援によって就業を促進します。

#### 主な取組

- ハローワーク高萩と連携し、ひとり親家庭の就労等に対して支援します。  
[子育て支援課]
- 各種制度を活用した障がいのある人の就業支援に努めます。 [社会福祉課]
- ハローワーク高萩と連携し、子育て中の方を対象とした再就職支援セミナーを開催します。 [地方創生課]
- 女性の活躍を推進するため、働き方改革の促進と女性のキャリア形成に向けた取組を推進します。 [地方創生課]
- 関係機関と連携し、世代ごとに対応した就職面接会等を実施し、シニア世代の就労支援策を検討します。 [観光商工課]

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
認定農業者数	38人	42人
女性の就業率(25～44歳) <sup>※1</sup>	67.8%	82%
労働力人口に対する 就業者率(労働率) <sup>※2</sup>	55.5%	60%

※ 1 総務省統計局「国勢調査」(H27)

※ 2 総務省統計局「国勢調査」(H27)

## 基本目標 2 高萩市への新しい人の流れをつくる

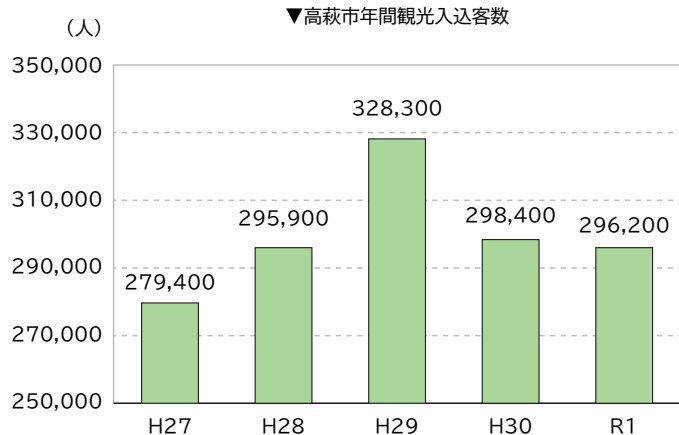


### 1 基本方針

#### 【現状と課題】

##### ● 交流人口から関係人口※1へ

- ・従来型の観光による来訪する人口（交流人口）の拡大のみならず、地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出が重要です。
- ・豊かな自然や歴史文化、古民家等を地域資源として捉え、魅力あるコンテンツとしての活用が必要です。



##### ● 既存ストックの利活用を促進

- ・人口減少が進む中、空き家や空き地が増加傾向にあります。
- ・若年層アンケートやワークショップにおいて、駅周辺の空き店舗の多さや買い物場所の少なさについての意見があり、まちの賑わい創出が求められています。
- ・「住む場所」と「働く場所」を増やし、移住者や起業者等と呼び込む必要があります。



物件紹介バンク制度による空き家の利活用

#### 【施策の方向性】

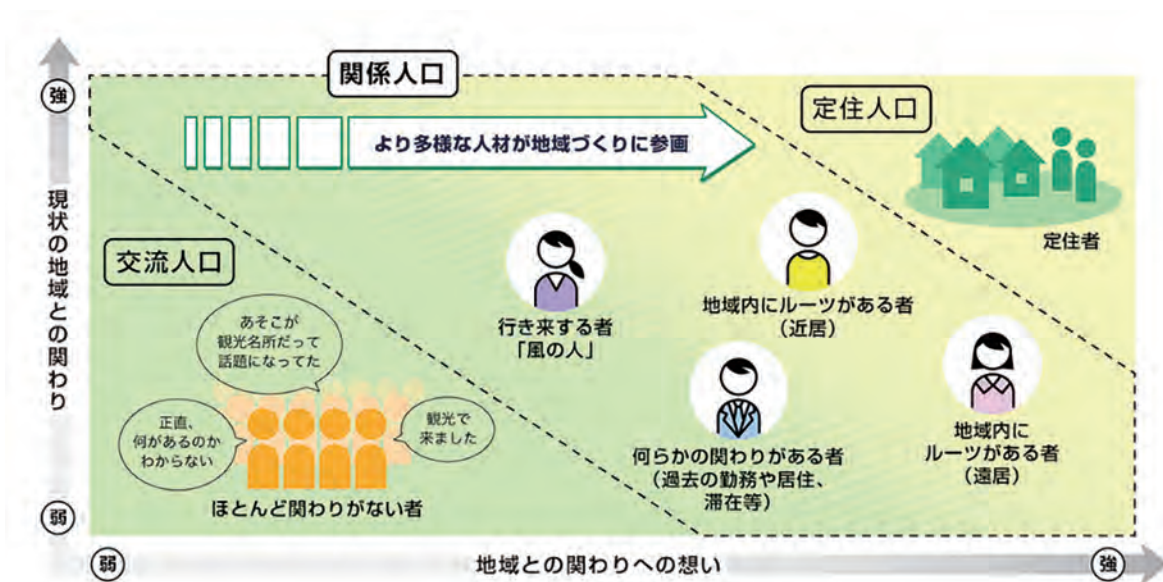
- 「高萩市への新しい人の流れをつくる」には、本市を知ってもらうことが重要であるため、本市の情報を効果的に発信するシティプロモーションを強化します。
- 本市の地域資源を有効活用し交流人口の拡大を図るとともに、継続的かつ多様な形で地域の活性化に寄与することが期待できる関係人口の創出・拡大を図ります。
- 使われていない空き家や空き店舗等の利活用を促進させ、多様なライフスタイルを考慮し、移住や起業しやすい環境を構築します。

※1 関係人口とは、移住・定住人口や交流・観光人口でもない新しい考え方で、本市に住んでいなくても多様な形で地域に関わる人々であり、仲間のこと。

## 2 数値目標

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
転出超過(転出者数-転入者数) <sup>※</sup>	203人	50人
観光入込客数	296,200人	400,000人

※住民基本台帳(R1)



総務省関係人口ポータルサイトより

### 3 施策項目

#### (1) 交流人口の拡大と関係人口の創出

##### 具体的施策

##### ① 地域資源を活用した交流人口の拡大と関係人口の創出

地域資源の掘り起こしと磨き上げにより、新たな魅力スポットとして活用し、交流人口の拡大や高萩ファンづくりのための取組を展開します。

##### 主な取組

- **拡充** ふるさと納税の返礼品として、魅力的な高萩産品や体験型商品を提供します。〔財政課・農林課・観光商工課・生涯学習課・地方創生課〕
- **新規** 豊かな自然や歴史文化、古民家等の地域資源を活用し、本市ならではの魅力あるコンテンツとして発信するとともに、観光客等を対象に新たな体験型ツーリズムを提供します。〔観光商工課・生涯学習課〕
- **拡充** 本市内に点在している観光拠点の魅力を向上させ、これらの拠点を結ぶ道路網(市道・林道)を整備することにより周遊型観光を推進します。〔観光商工課・建設課・農林課・地方創生課〕
- **新規** 発信力がある市民等を高萩PR隊員(仮称)に位置づけ、個人や団体のネットワークを通して外部とのつながりを強化し、本市との関わりを持つ関係人口を増やします。(高萩つなぐプロジェクト) 〔地方創生課〕

##### ② 多様なライフスタイルに対応した二地域居住推進

移住への前ステップとして、本市と他地域で暮らす多様な暮らし方に対応し、地域との関係を築き、将来的に移住へ繋がるきっかけづくりに取り組みます。

##### 主な取組

- 移住につなげるために関係機関と連携した相談会の開催や移住希望者への情報発信を強化します。〔地方創生課〕
- 山間地域の活性化のために農業体験や農家宿泊体験の実現へ向けて検討し、交流拠点の形成を目指します。〔農林課〕
- **新規** 都会と地方で暮らす二地域居住の推奨のためにマッチング相談会や空き家や空き店舗の紹介などの支援を行います。〔地方創生課・観光商工課〕

## 具体的施策

### ③ 情報発信ツールの充実

魅力スポットを地域課題に対応するよう発展させるとともに、情報の接触機会の増加や新型コロナウイルス感染症収束後におけるインバウンドを見据え、国内外のからの交流人口増加を図ります。

#### 主な取組

##### ● **拡充** 国内外に向けた魅力スポットの発信

本市のSNS等複数の情報発信チャンネルやアウトドア専門のメディアを活用し、新型コロナウイルス感染症収束後の更なる交流人口の増加を図ります。〔観光商工課〕

##### ● **新規** 観光・移住プロモーションの強化

SNS等による情報発信に加え確実に情報を届けることが可能なパンフレット等を作製し、本市の魅力を発信します。〔観光商工課〕

##### ● **新規** 地域資源利活用計画の策定

新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、更なる関係人口増加を図るため地域資源の利活用に係る具体的計画を策定します。〔観光商工課〕

重要業績評価指標(KPI)	基準値 (R2)	目標値 (R7)
魅力スポット発信数	30回	180回 (5カ年累計)
魅力スポット、歴史文化等を題材とした 体験プログラムの数	0件	10件 (5カ年累計)
アウトドア施設(キャンプ)の利用者数	4,254人	10,650人
ふるさと納税寄附額	1,250万円	4,000万円
企業版ふるさと納税寄附額	3件 120万円	5件 250万円

## (2)移住・定住の推進

### 具体的施策

#### ① 空き家等(既存ストック)の利活用による住まいの創出と新たな利用促進

魅力あるまちづくりを推進するため、空き家や空き店舗などの既存ストックを活用し、新たな利用促進を図ります。

### 主な取組

- **新規** 空き家や空き店舗、公共施設等の既存ストックの再生と活用のための仕組みづくりを検討します。〔財政課・農林課・観光商工課・生涯学習課・地方創生課〕
- 不動産事業者と連携し、空き家や空き店舗の登録及び利用のための物件紹介バンク制度の促進を図ります。〔地方創生課〕

### 具体的施策

#### ② 魅力的な住環境の確保による移住・定住促進

本市への移住や定住を促進するために、「住まい」を核とした支援策の充実を図ります。

### 主な取組

- **拡充** 市内に住宅を建築・購入する若年夫婦や子育て世帯に対し、費用の一部を助成します。〔地方創生課〕
- リフォームによる快適な居住環境づくりのため、費用の一部を助成します。〔地方創生課〕

## 具体的施策

### ③ 若者の定着とUIJターンの促進

若者の本市への定着やUIJターンを促進するため、就職をきっかけとした支援の充実を図るとともに地域外の人材のノウハウを取り入れ、地域活性化を図ります。

## 主な取組

- **拡充** 奨学金を利用して高等学校等を卒業後、本市に居住した方に奨学金返還金の一部を補助します。〔地方創生課〕
- 新たな地域活性化の担い手確保のため、地域外の人材を地域おこし協力隊として委嘱します。〔地方創生課〕
- 国及び茨城県と連携し、東京圏から県指定の中小企業に就職し、移住した方に対して支援金を交付します。〔地方創生課〕

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
住環境支援策における 転入世帯数	4世帯	7世帯 (5カ年平均)
奨学金返還支援制度を利用した 新規利用者数	3人	25人 (5カ年累計)
移住定住推進ホームページの アクセス数	10,339回	20,000回 (5カ年平均)
物件紹介バンクの登録件数	16件	30件 (5カ年累計)

## 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる



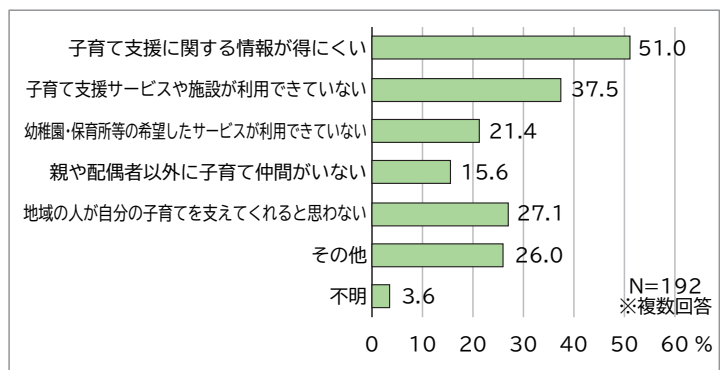
### 1 基本方針

#### 【現状と課題】

#### ● 子育て支援に関する情報を発信

- ・少子化や女性の社会進出、晩婚化といった社会構造の変化、核家族化や共働き世帯の増加といった家族形態の多様化等、妊産婦や子どもを取り巻く環境が大きく変化してきています。
- ・市民アンケートによると、「子育て支援に関する情報が得にくい」という回答が最も多いことから、より伝わりやすい情報発信が求められています。

「あなたは、高萩市には、子どもを安心して産み育てることができる環境が整っていると思いますか。」という設問に対し「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した人の「具体的にどのような理由で「そう思わない」と感じますか。」という設問に対する回答結果  
※市民アンケート調査結果



#### ● 郷土愛を育む

- ・地域の将来を支える人材確保のために、郷土への愛着と誇りを持つシビックプライドを育むことが求められています。



中学生語り部による「高萩の昔話と伝説」の伝承

#### 【施策の方向性】

- 子育てにおける不安や負担感を解消するため、妊娠期から子どもの成長・発達に応じて切れ目のない相談支援体制の充実を図ります。
- 多様化する社会に適応し、子育て世代が働きながら子育てしやすい環境づくりに取り組みます。
- 地域全体で子どもを支え、郷土への愛着と誇りを持つシビックプライドを備えた『萩っ子』の育成に取り組みます。



## 2 数値目標

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
合計特殊出生率※	1.36	1.46

※人口動態保健所 市町村別統計(H25～29)



地域の方との協働による「放課後子ども教室」



母子健康手帳アプリを利用できるサービス

### 3 施策項目

#### (1) 出会い・結婚・出産・子育て支援

##### 具体的施策

##### ① 出会いから結婚・妊娠・出産への支援

結婚に対する意識向上を図るため、若者の出会いの場の創出や妊娠・出産・子育てのライフプランを描き希望をかなえるための取組を推進します。

##### 主な取組

- 関係機関と連携し、結婚相談会の開催やいばらき出会いサポートセンターの利用促進を図ります。〔地方創生課〕
- **拡充** 生まれてくる子どもを先天性風疹症候群(CRS)から守るための風疹予防接種や不妊や不育治療に要する費用を助成します。〔健康づくり課〕
- 「母子健康手帳アプリ すくすく<sup>※1</sup>」により、予防接種のスケジュール管理や育児情報等を配信するサービスを提供します。〔健康づくり課〕

※1 「母子健康手帳アプリ すくすく」  
妊娠中の体調・体重や子どもの成長、予防接種の記録ができ、日記機能をあわせ持つアプリ。本市の子育て情報も閲覧できる。

##### 具体的施策

##### ② ライフステージに応じた子育てしやすい環境づくり

子育てにおける不安や負担感を解消するため、相談体制の充実や働きながら仕事と子育てを両立させるための環境整備を推進します。

## 主な取組

- 関係機関の連携による「子育て世代包括支援センター すくすく<sup>※2</sup>」において、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない相談と支援を行います。  
[健康づくり課・子育て支援課]
- 市内の産科医療体制の維持を図り、小児科医療体制の構築方法を検討します。  
[健康づくり課]
- **新規** 公立幼児施設の適正配置により、認定こども園を建設し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図ります。 [教育総務課・子育て支援課]
- 市内全小学校において放課後児童クラブを開設し、保護者が就労などで家庭にいない児童に遊びや生活の場を提供します。 [子育て支援課]
- 病気や病気回復期に集団保育ができない子どもを、一時的に保育する環境づくりを推進します。 [子育て支援課]
- 土曜日等に医療機関での予防接種外来を開設することで、予防接種の機会を確保します。 [健康づくり課]
- 学校給食費の補助や小学校新1年生にランドセルを支給します。 [教育総務課]
- 入園・入学祝い金を支給します。 [子育て支援課]

※2 「子育て世代包括支援センター すくすく」  
安心して妊娠・出産・育児ができるように、妊娠や出産に関する不安や、育児に関する悩み、幼稚園・保育園への入園等様々な相談に対応する。

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
いばらき出会いサポートセンター 登録による成婚者数	1件	15件 (5カ年累計)
母子健康手帳アプリ すくすくの登録数	180件	580件 (5カ年累計)
子育て環境や支援に満足している 保護者の割合	就学前49.4% 小学生40.8%	就学前55% 小学生50%

## (2)魅力ある教育環境の提供

### 具体的施策

#### ① 子どもを地域全体で支える環境づくり

地域全体で子どもを支え子育てする親の負担軽減を図るため、地域住民と学校が一体となって子どもの健全育成に取り組みます。

### 主な取組

- 子どもたちが、放課後に安全で健やかに過ごせる活動拠点(居場所)を地域の中に設置し、様々な体験活動や遊び、地域の人たちとの交流などを推進します。  
[生涯学習課]
- 市内全ての学校で、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)<sup>※3</sup>」を実施し、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進します。 [学校教育課]

※3 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」

学校に学校運営協議会を設け、地域の声を積極的に活かし、学校・家庭・地域が連携して「地域とともにある学校」づくりを進めてくことができる仕組みのこと。

### 具体的施策

#### ② 次世代を担う力を培う教育の推進

外国語教育やICT機器を活用した教育、学び合う学習などを通して一人一人が輝き羽ばたくための人材育成に取り組みます。

### 主な取組

- 市立幼稚園にALT(外国語指導助手)を派遣し、小学校就学前からの英語に対する興味関心の高揚を図ります。 [学校教育課]
- **拡充** 全ての児童生徒に「1人1台端末」によるICT環境を整備し、充実した学習活動を展開します。 [教育総務課・学校教育課]
- 児童生徒が主体となり、問題解決型の対話を通して学び合う深い学習を推進します。 [学校教育課]
- **新規** 多様な生き方を認め合い誰もが自分らしく輝けるよう、子どもの頃からの男女共同参画教育及び学習を推進します。 [地方創生課]

## 具体的施策

### ③ シビックプライド(郷土愛)を育む教育の推進

人や自然から多くを学び、伝統文化等を尊重し、郷土への愛着と誇りを持つシビックプライドを備えた『萩っ子』を育む教育を推進します。

#### 主な取組

- 「萩っ子5(5つの約束)<sup>※4</sup>」に取り組み、人や自然の触れ合いから感じ取る力、読み取る力「感性」を備え、伝統と文化を尊重し、本市の歴史を理解する「郷土愛」を併せ持つ『萩っ子』を育む教育を推進します。 [学校教育課]
- 子どもたちに地域の歴史や伝統文化に触れる機会を提供し、郷土愛を育みます。 [生涯学習課]

※4 「萩っ子5(5つの約束)」

『萩っ子』を目指すために意識する5つの約束のこと。

- 1 進んで学習します
- 2 誰にでも優しくします
- 3 明るく元気に過ごします
- 4 高萩の良さを学びます
- 5 夢に向かって行動します

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
萩っ子5(5つの約束)を意識して生活した児童生徒の割合	84%	88%
地域の人が自分の子育てを支えてくれていると感じる保護者の割合	就学前35.1% 小学生38.3%	40%
県学力診断テストの県平均点と市平均点の差	マイナス3.2点	プラス0.5点

# 基本目標 4 ひとが集う安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

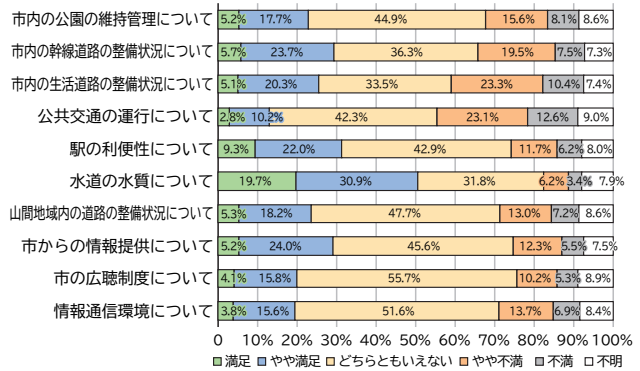


## 1 基本方針

### 【現状と課題】

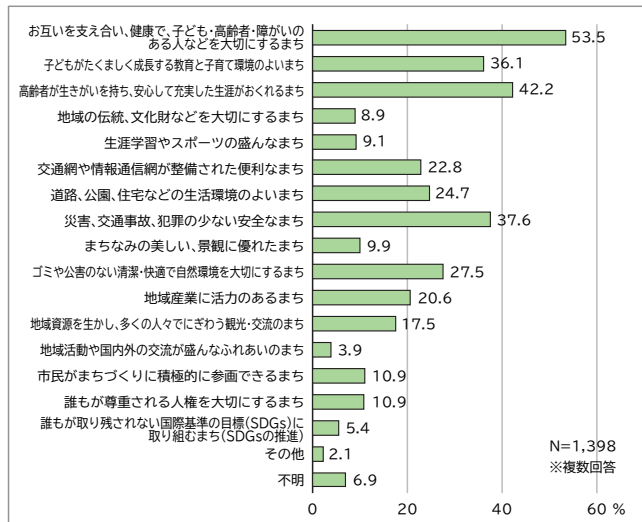
- 防災や防犯の機能強化と交通手段の確保
  - ・安心して暮らせるまちを実現するため、地域における防災や防犯の機能向上が重要です。
  - ・市民アンケートによると、公共交通の運行が最も満足度が低く、公共交通サービスの充実が求められています。

高萩市の環境・状況について「あなたの満足度をお聞かせください。」という設問に対する回答結果 ※市民アンケート調査結果



- 人が支え合う地域コミュニティを構築
  - ・市民アンケートによると、最も望まれているまちのあり方として、「お互いを支え合い、健康で子ども・高齢者・障がいのある人などを大切にすまち」の実現が求められています。
  - ・人との関わりに対する考え方の多様化や人口減少に伴う担い手不足による地域コミュニティの衰退が危惧されます。

「あなたは、高萩市がこれからどのようなまちになっていくと良いと思いますか。」という設問に対する回答結果 ※市民アンケート調査結果



### 【施策の方向性】

- 頻発する自然災害や犯罪に備え、防災・防犯環境の充実を図り、市民一人一人が適切な役割を担う地域力の向上に取り組みます。
- 市民の生活を支えるサービス機能を確保し、時代に適応したまちづくりに取り組みます。
- 持続可能な地域社会を形成するため、住民ニーズや人口減少社会に対応した地域コミュニティを再編し市民協働のまちづくりを推進します。

## 2 数値目標

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
地域の特色を活かし、 誰もが快適に暮らせるまちになっていると思う 市民割合※	58.8%	70%

※市民アンケート結果(R1)

### DR(ダイナミックルーティング) システム

AI技術を活用し、予約に応じてバス運行経路の最適化を行うシステム。利用者の需要に応じて、仮想停留所の設置、流動的な経路の設定を行います。



地域における防災力を高める取組



市民による地域活性化イベント

### 3 施策項目

#### (1) 安心・快適な生活環境の整備

##### 具体的施策

##### ① 防災・防犯対策の推進

頻発する自然災害や犯罪に備え、防災・防犯環境の充実を図り、市民が安全に安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

##### 主な取組

- **拡充** 避難所のWi-Fi整備や感染症対策を踏まえた避難所の体制づくりを推進します。〔危機対策課〕
- **新規** 多重な情報伝達手段の一つとして、民間の防災アプリの活用や新たな防災アプリの整備を検討します。〔危機対策課〕
- 自治会等が保有する防犯灯をLED化する費用を補助し、安心して暮らせる明るいまち並みを推進します。〔財政課〕
- **拡充** 犯罪の抑止及び犯罪発生後に的確な対応ができるよう街頭防犯カメラの設置を推進します。〔総務課〕

##### 具体的施策

##### ② 安心して必要な医療が受けられる環境の整備

身近な地域で必要な医療を安心して受けられるよう、救急救助体制や地域医療体制の充実に取り組みます。

##### 主な取組

- 医師が救急現場に向かうための救急自動車(ラピッド方式ドクターカー)を運用し、救急救助体制の充実に取り組みます。〔消防総務課〕
- 地域医療体制維持のため、新たな常勤医師を確保する市内病院に対し、住宅費等経費の一部を助成します。〔健康づくり課〕



## 具体的施策

### ③ 新たな公共交通サービスの推進

日常生活において利用しやすい公共交通手段を確保するため、地域の特性を見据え、新しい時代に適する公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

### 主な取組

- **拡充** 高齢者や自家用車を持たない人などが日常生活での移動に困らないよう、利便性の高い公共交通手段を確保します。〔企画広報課〕
- **新規** 様々な移動手段と多様な商品販売などを組み合わせた複合サービスである「MaaS（マース、Mobility as a Service）」の導入など、公共交通を利用しやすい環境整備に取り組みます。〔企画広報課〕
- 交通利便性の向上や地域経済基盤を強化するため、都市計画道路の整備を促進します。〔都市整備課〕

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R2）	目標値（R7）
自主防災組織のカバー率	87.7%	90%
街頭防犯カメラの設置台数	13台	18台
市内路線バス、デマンド型乗合タクシーの利用人数	75,353人	94,000人

## (2)新たなコミュニティスタイルの形成

### 具体的施策

#### ① ともに支え合う地域コミュニティの担い手づくり

地域課題の解決に向けた地域社会を実現するため、市民一人一人が役割を担い、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

### 主な取組

- 「自助」「共助」の精神に基づく地域における防災力を強化するため、自主防災組織の育成に取り組みます。〔危機対策課〕
- 健康寿命の延伸に向けた介護予防や健康づくりなどに取り組む団体の活動を支援します。〔健康づくり課〕
- **新規** 多様な人や組織が参画して支え合い、地域の実情に適応した「高萩型地域コミュニティ<sup>※5</sup>」を構築します。〔地方創生課〕

※5 「高萩型地域コミュニティ」

PTAや社会福祉協議会などの目的別組織と常会や自治会などの地域組織が、緩やかに連携しそれぞれの組織が抱える解決が難しい課題を、互いに助け合って解決していく仕組み(集合体)のこと。

## 具体的施策

### ② 地域コミュニティ活性化等による市民協働のまちづくり

持続可能な地域社会を形成し活性化を図るため、若者の価値観の変化や時代の流れを踏まえた新たなコミュニティを形成し、市民協働のまちづくりを推進します。

## 主な取組

- **新規** 時代に即した持続可能な地域コミュニティのあり方を検討し、「高萩型地域コミュニティ」を踏まえた新たな地域コミュニティ制度を構築します。  
[関係各課]
- 市民が主体となって行う地域活性化イベントや事業などを支援します。  
[地方創生課]

重要業績評価指標(KPI)	基準値(R2)	目標値(R7)
市民と行政が役割分担し、協力してまちづくりをしていると思う市民割合*	24.4%	50%
地域支援型のまちづくり事業数	3事業	5事業 (5カ年平均)

※ 市民アンケート結果(R1)

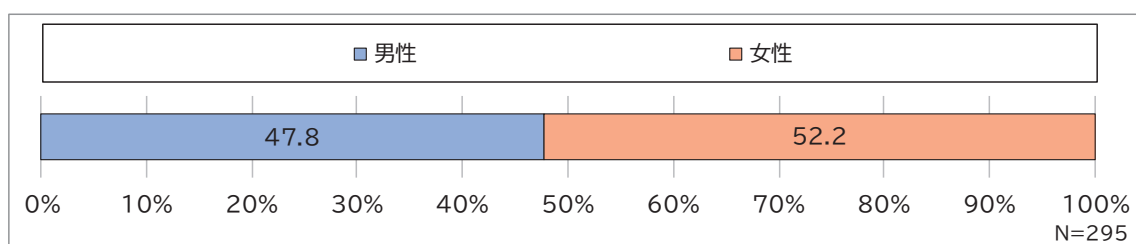
# 参考資料

## 1 若年層の定住に関するアンケート調査結果

### (1) 回答者属性

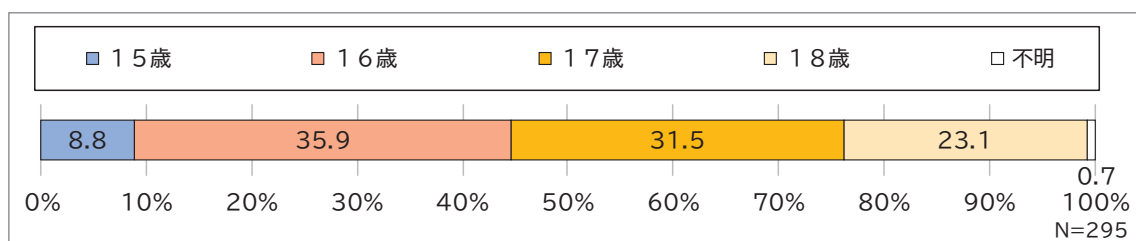
#### 問1-1 性別

「女性」が52.2%、「男性」が47.8%であった。



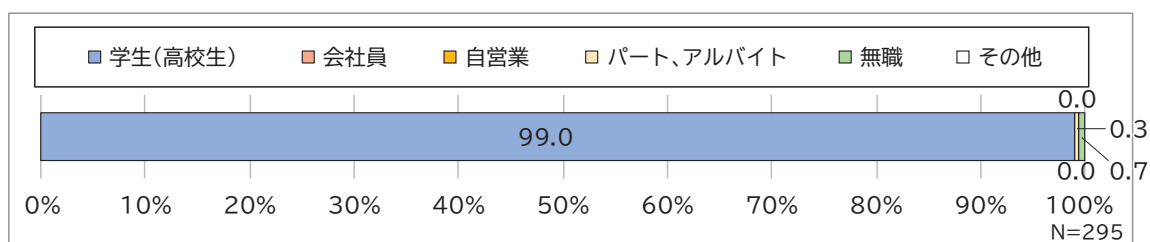
#### 問1-2 年齢

「16歳」(35.9%)が最も多く、以下、「17歳」(31.5%)、「18歳」(23.1%)、「15歳」(8.8%)の順であった。



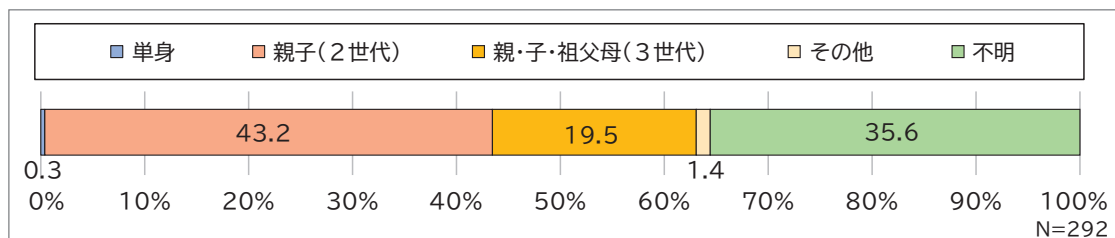
#### 問1-3 職業

「学生(高校生)」(99.0%)が殆どを占め、以下、「無職」(0.7%)、「パート・アルバイト」(0.3%)であった。



## 問1-4 家族構成

「親子(2世代)」(43.2%)が最も多く、以下、「不明」(35.6%)、「親・子・祖父母(3世代)」(19.5%)の順であった。



## 問1-5 居住地域

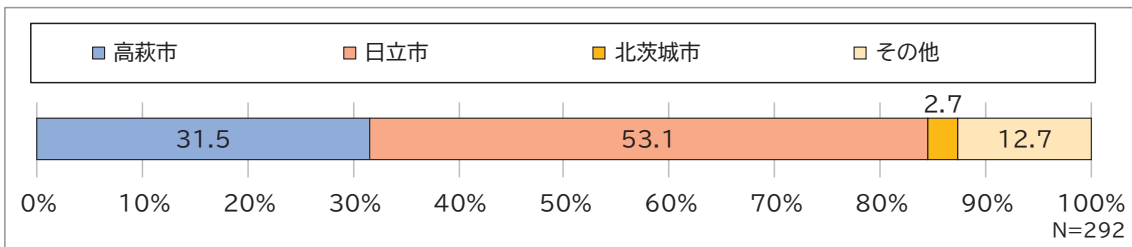
「不明」(34.2%)を除くと、「島名」(11.3%)が最も多く、以下、「高萩」(9.2%)、「上手網(望海含む)」(8.6%)、「安良川」(7.5%)の順であった。

地域名	割合
本町	2.7%
大和町	1.0%
春日町	0.3%
東本町	1.0%
肥前町	1.4%
有明町	2.1%
高浜町	3.8%
高萩	9.2%
安良川	7.5%
石滝	0.3%
島名	11.3%
秋山	6.2%

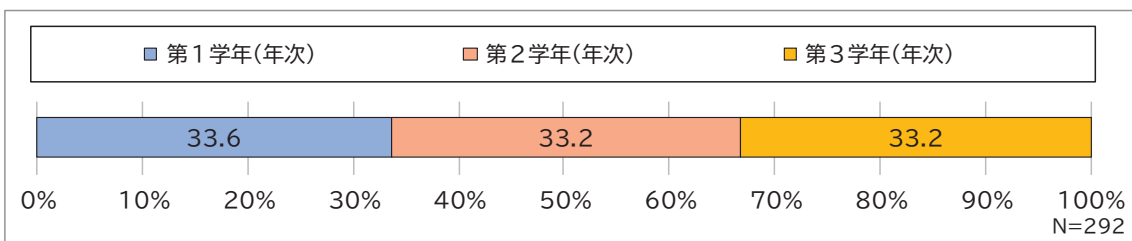
地域名	割合
上手網(望海含む)	8.6%
下手網	6.2%
高戸	3.1%
赤浜	0.7%
若栗	0.0%
上君田	0.0%
下君田	0.0%
中戸川・福平	0.3%
大能	0.0%
横川	0.0%
不明	34.2%

**問2** 〔問1(3)で「1. 学生(高校生)」とお答えの方〕あなたが通学している学校の所在地と学年をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

通学している学校の所在地をみると、「日立市」(53.1%)が最も多く、以下、「高萩市」(31.5%)、「その他」(12.7%)の順であった。

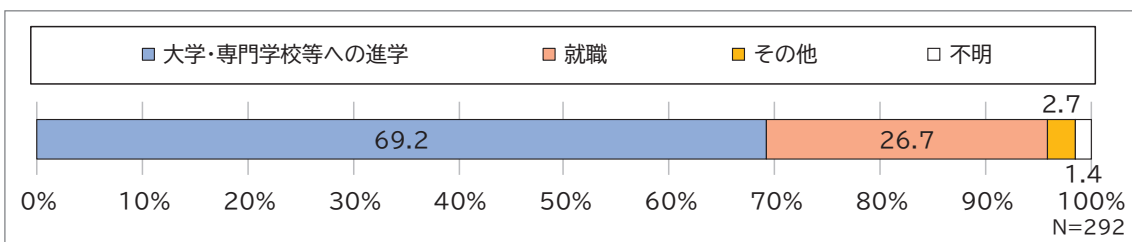


学年をみると、「第1学年(年次)」が33.6%、「第2学年(年次)」が33.2%、「第3学年(年次)」が33.2%であった。



**問3** 〔問1(3)で「1. 学生(高校生)」とお答えの方〕現在通学している学校を卒業後、どのような進路を希望していますか。(あてはまるもの1つに○)

「大学・専門学校等への進学」(69.2%)が最も多く、以下、「就職」(26.7%)、「その他」(2.7%)の順であった。



**問4** 〔問1(3)で「1. 学生(高校生)」とお答えの方〕問3で回答した進路先はどの地域を希望していますか。(あてはまるもの1つに○)

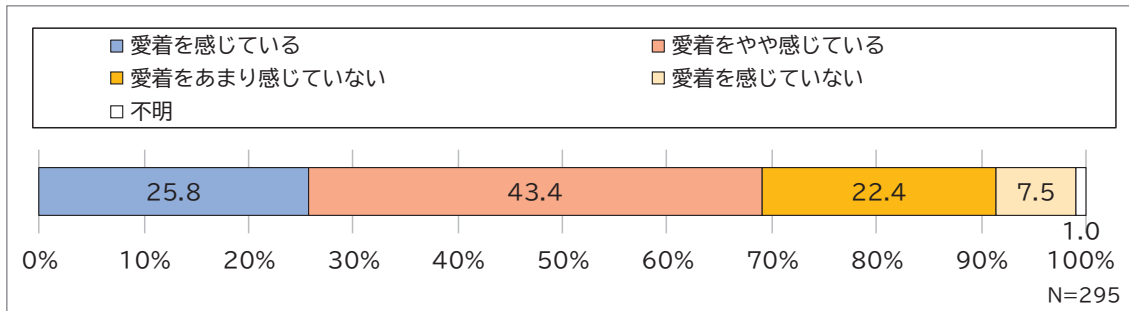
「東京都」(22.3%)が最も多く、以下、「水戸市」(20.5%)、「日立市」(15.4%)の順であった。

地域名	割合
高萩市	9.2%
北茨城市	2.1%
日立市	15.4%
水戸市	20.5%
その他の茨城県内の市町村	7.2%
いわき市	1.4%
福島県(いわき市以外)	0.7%
栃木県	1.4%
東京都	22.3%
千葉県	5.8%
その他の道府県	9.9%
海外	0.3%
不明	3.8%

## (2)高萩市のことについて

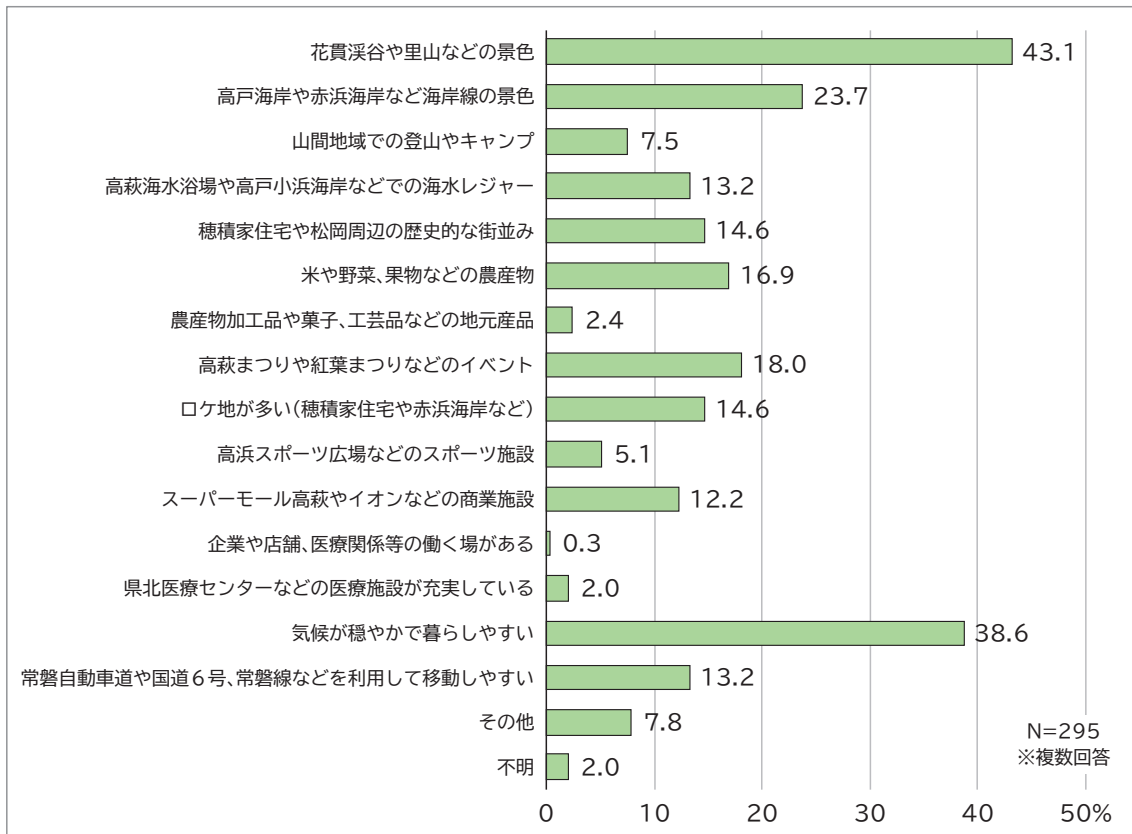
**問5** あなたは、高萩市に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

「愛着をやや感じている」(43.4%)が最も多く、以下、「愛着を感じている」(25.8%)、「愛着をあまり感じていない」(22.4%)の順であった。



**問6** あなたは、高萩市の良いところは何だと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

「花貫溪谷や里山などの景色」(43.1%)が最も多く、以下、「気候が穏やかで暮らしやすい」(38.6%)、「高戸海岸や赤浜海岸など海岸線の景色」(23.7%)、「高萩まつりや紅葉まつりなどのイベント」(18.0%)、「米や野菜、果物などの農産物」(16.9%)の順であった。

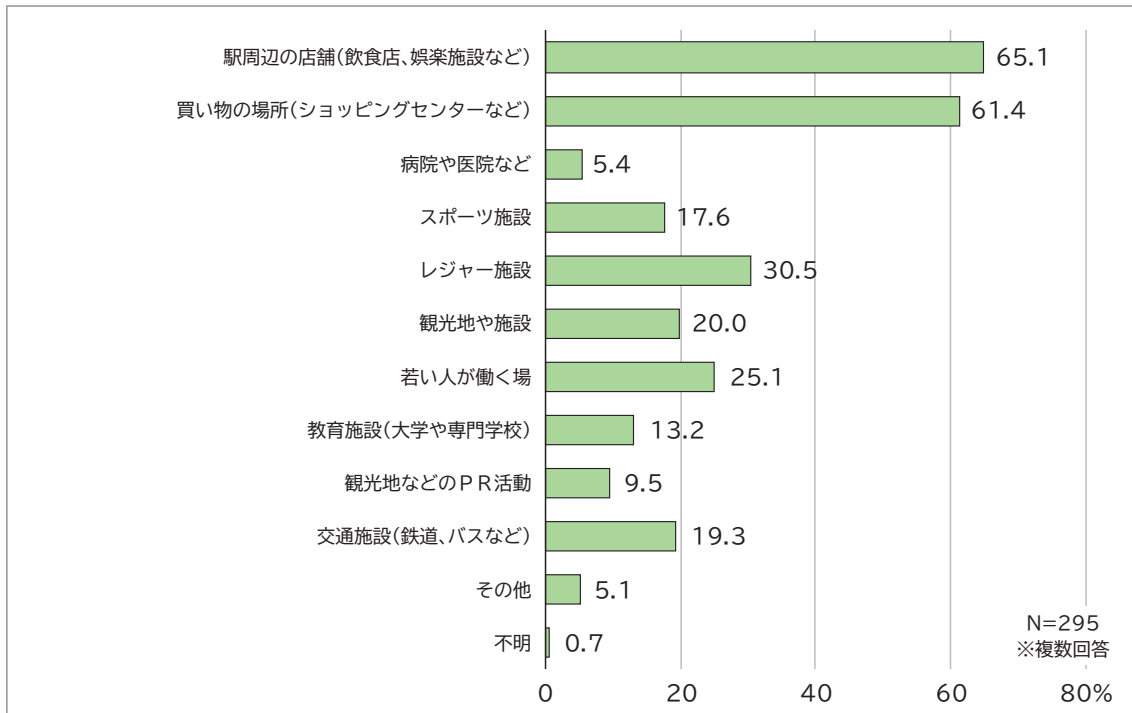




## 問7 あなたは、高萩市に足りないものは何だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

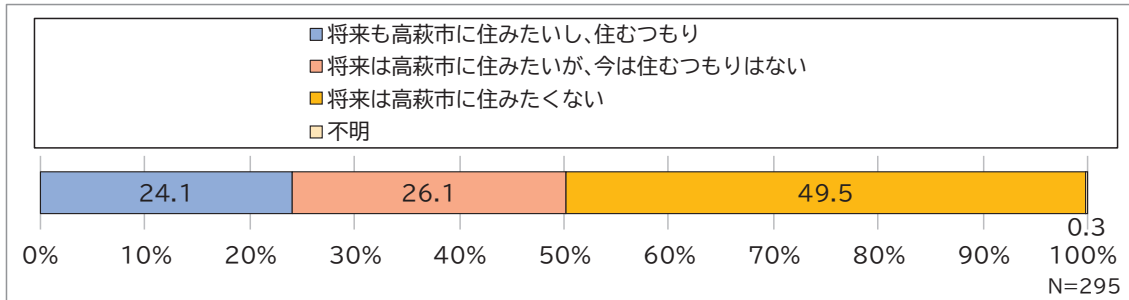
「駅周辺の店舗(飲食店、娯楽施設など)」(65.1%)が最も多く、以下、「買い物の場所(ショッピングセンターなど)」(61.4%)、「レジャー施設」(30.5%)、「若い人が働く場」(25.1%)、「観光地や施設」(20.0%)の順であった。



### (3) 将来住みたいところについて

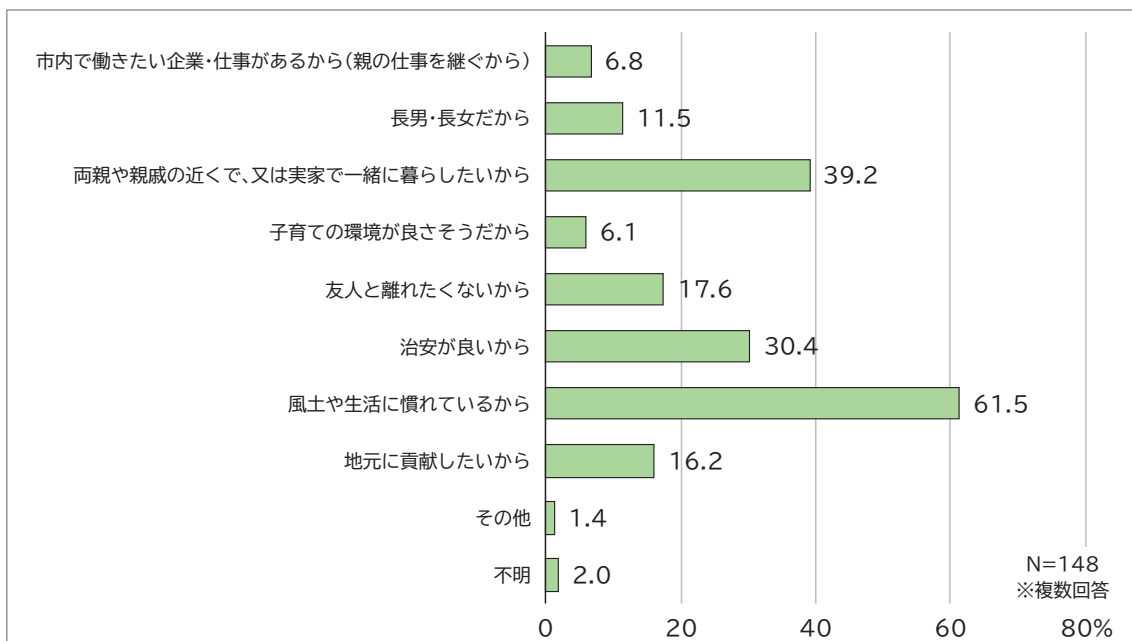
**問8** あなたは将来、高萩市に住みたい(定住したい)と考えていますか。  
(あてはまるもの1つに○)

「将来は高萩市に住みたくない」(49.5%)が最も多く、以下、「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」(26.1%)、「将来も高萩市に住みたいし、住むつもり」(24.1%)の順であった。



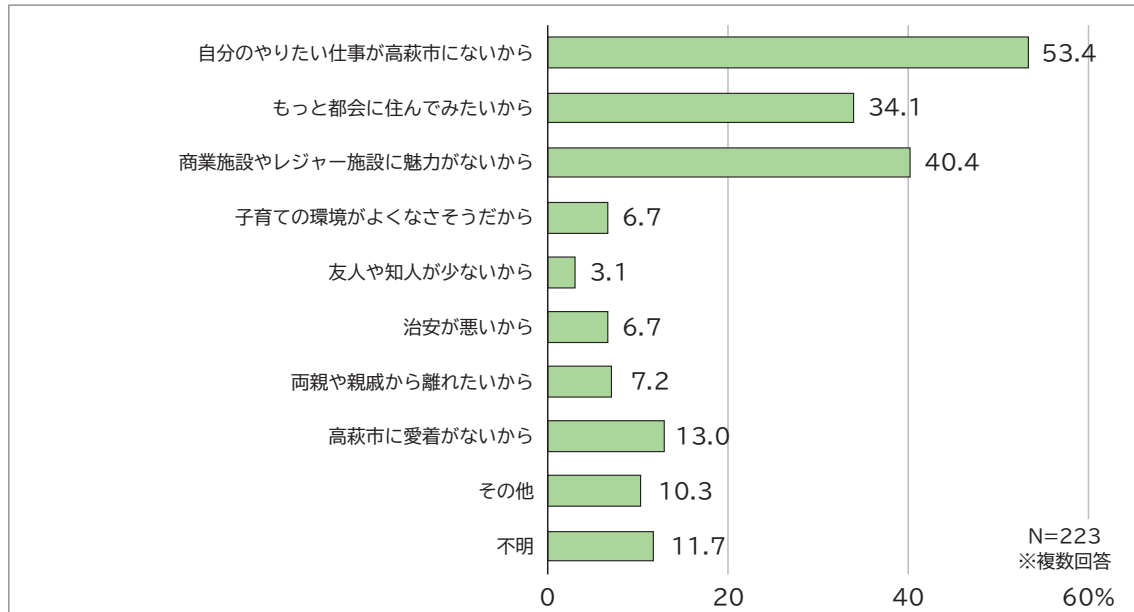
**問9** [問8で「1」又は「2」とお答えの方]あなたが「高萩市に住みたい」と回答した理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

問8で「将来も高萩市に住みたいし、住むつもり」か「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」とした回答者の理由をみると、「風土や生活に慣れているから」(61.5%)が最も多く、以下、「両親や親戚の近くで、又は実家で一緒に暮らしたいから」(39.2%)、「治安が良いから」(30.4%)の順であった。



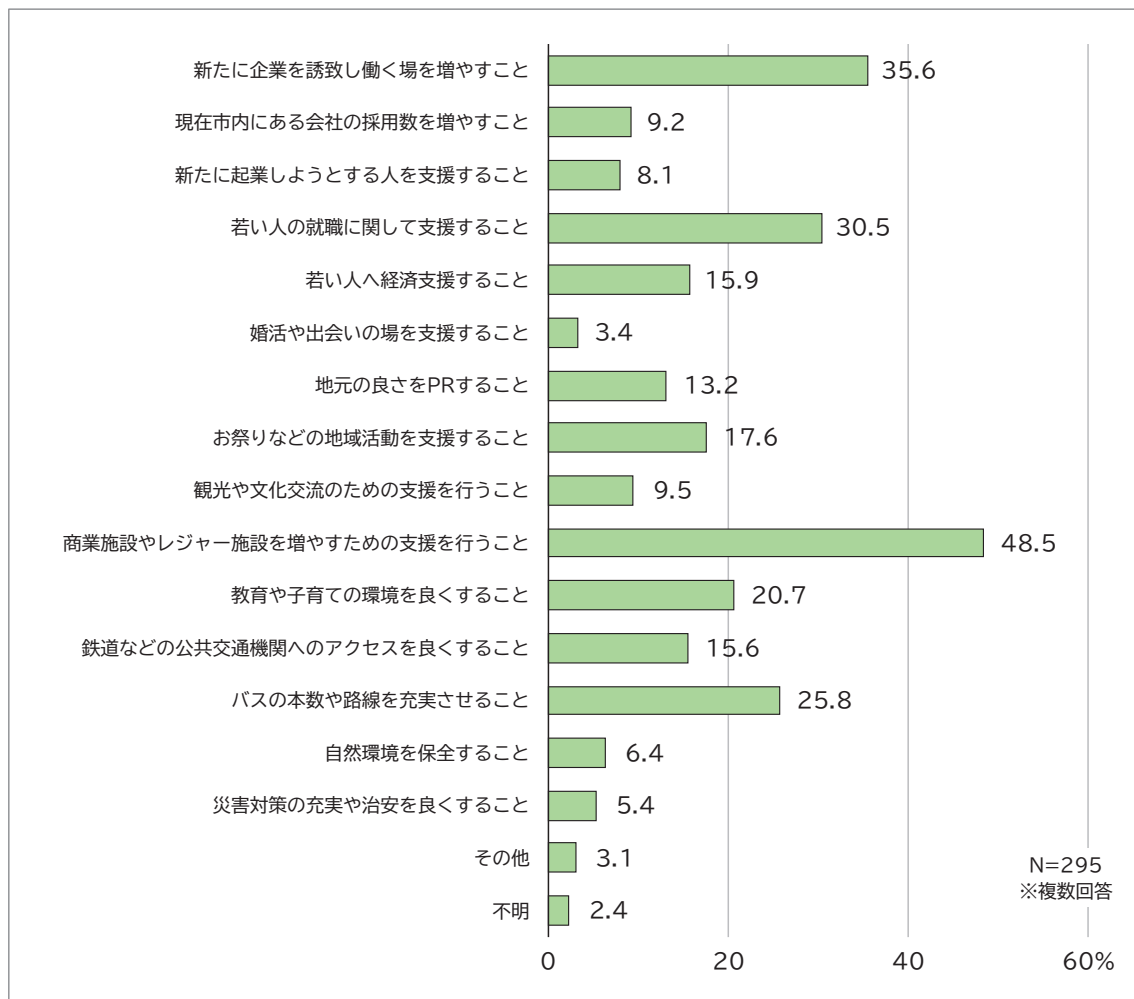
**問10** [問8で「2」又は「3」とお答えの方]あなたが高萩市に「今は住むつもりはない」又は「住みたくない」と回答した理由は何ですか。  
(あてはまるもの3つまで○)

問8で「将来は高萩市に住みたいが、今は住むつもりはない」か「将来は高萩市に住みたくない」とした回答者の理由をみると、「自分のやりたい仕事が高萩市にないから」(53.4%)が最も多く、以下、「商業施設やレジャー施設に魅力がないから」(40.4%)、「もっと都会に住んでみたいから」(34.1%)の順であった。



**問11 あなたは、高萩市に住む人を増やすために必要な支援策は何だと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)**

「商業施設やレジャー施設を増やすための支援を行うこと」(48.5%)が最も多く、以下、「新たに企業を誘致し働く場を増やすこと」(35.6%)、「若い人の就職に関して支援すること」(30.5%)、「バスの本数や路線を充実させること」(25.8%)、「教育や子育ての環境を良くすること」(20.7%)の順であった。



## 2 「みんなで語ろう！高萩の未来」ワークショップ報告書

### (1)目的

第2期高萩市創生総合戦略を策定するに当たり、将来の地域づくりの担い手である若い世代の声を把握し、施策検討の参考とするとともに、参加者が本市の将来について自分事として考える機会を設けることで、まちづくりの関心や郷土の愛着を高め、市外転出の抑制に繋げることを目的に、ワークショップを開催した。

### (2)日時

令和2年8月12日(水) 午前9時～正午

### (3)場所

高萩市役所4F 大会議室

### (4)対象

市内中学校(高萩中学校・秋山中学校・松岡中学校)及び高校・大学  
【内訳】中学生8名、高校生4名、大学生2名 合計14名

### (5)内容・経過

#### ■課題提起

本市の人口の推移や転出入の状況などについて職員から説明し、人口減少・少子高齢化の進行や、市外への進学・就職に伴う20歳代の転出増加という本市の課題について共有した。

#### ■本市における特徴的な取り組みについて

課題提起を踏まえ、推進している特徴的な取組などについて、職員から説明した。

#### ■ワークショップ

学校・学年混成で3グループに分かれ、参加者それぞれの本市の「好きなところ」「残念なところ」を起点に、本市の未来について語り合うワークショップを行った。ワークショップの経過は、P.43のとおり。



## 【ワークショップの経過】

### ■話し合い その①

- (1) 高萩市の「好きなコト・好きなモノ・好きなトコロ」をたくさん出しましょう。
- (2) その中で、これからも残していきたい、無くしたくない大切だと思うコトなどを話し合しましょう。
- (3) 高萩市の“ちょっと残念…”なコトとその理由を考えましょう。

### 【意見一覧】

好 き	残 念
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の中でたくさん遊ぶこと</li> <li>・ 自然がとっても豊か、多い（山・川・海）</li> <li>・ ダム</li> <li>・ 桜がきれい</li> <li>・ 海がきれい</li> <li>・ 蛍</li> <li>・ 森林公園</li> <li>・ さくら宇宙公園</li> <li>・ 運動できる場所が多い</li> <li>・ 松岡お屋敷通り</li> <li>・ 八幡宮</li> <li>・ 君田</li> <li>・ お祭り（高萩まつり）</li> <li>・ 桜まつり</li> <li>・ 行事がいろいろある</li> <li>・ はぎまるワッフル</li> <li>・ 永寿堂</li> <li>・ つるつき苺</li> <li>・ たかはぎブランド品</li> <li>・ はちのラーメン</li> <li>・ 五浦ハムのハム焼き</li> <li>・ 納豆</li> <li>・ おいしい野菜</li> <li>・ 電車が多く通っている（高萩止まり）</li> <li>・ 友達がいる！</li> <li>・ 秋山小の安全活動</li> <li>・ 頑張っている団体がたくさんある</li> <li>・ 近所の人たちとのつながり</li> <li>・ お年寄りの方々がみんな優しい</li> <li>・ 小学生たちの安全を守ってくれる人たち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然をもっと活用してほしい</li> <li>・ 海の砂浜にゴミがたくさんある</li> <li>・ 虫が多い</li> <li>・ 歩道や道路に段差が多い</li> <li>・ せまい道路が多い</li> <li>・ バスが少ない（本数が少ない）</li> <li>・ 車がないと不便</li> <li>・ デパートなどが少ない</li> <li>・ 商業施設（ショッピングモール）が少ない</li> <li>・ 服屋さんが少ない</li> <li>・ コンビニがあまり多くない</li> <li>・ 娯楽施設が少ない</li> <li>・ 映画館がほしい</li> <li>・ 遊ぶ場所が少ない</li> <li>・ 知られていない行事も多くある</li> <li>・ 良いところを伝えられていない</li> <li>・ SNS を活用できていない</li> <li>・ PR が下手</li> <li>・ 住んでいても知らないことがある</li> <li>・ 若い人を見掛けない気がする…</li> <li>・ 空き地、空き家がたくさんある</li> <li>・ 駅前が活用されていない</li> <li>・ 商店街のシャッターの多さ</li> <li>・ 灯りが少ない</li> <li>・ お祭りの盛り上がりが段々無くなってきている</li> <li>・ 子育て支援が弱い</li> <li>・ 「おうちごはん」（日立）みたいな取組みがあったらいいのに…</li> <li>・ 対策が遅い</li> <li>・ バラバラ</li> <li>・ たかはぎ FM が市民に普及していない</li> </ul>

## [その他の意見]

- ・他の市へは情報発信をしているが、市内にいと分からないことがある。
- ・子供会などの行事参加者は、大体いつも同じ顔触れ。
- ・高萩まつりは、部活や友達の都合もあるので2日間の方が良かった。

## [まとめ]

山・川・海など本市を代表する自然環境の評価が高くなっていることに加え、「ダム」や「君田」、「桜」など地域資源や祭りイベントに対する評価も高くなっている。また、「人」に対する評価も高く、人とのつながりや電車を利用する学生ならではの高萩が終着駅であることによる電車本数についての意見も出された。

一方、バス利便性の評価が低く、自動車を運転できない若い世代の悩みの実態が明らかになった。また、空き家や空き地、商店街のシャッターの多さなど、活気のなさを感じていることが推察される。整備の整っていない歩道や道路、街灯などの場所を特定した対策に加え、若い世代にも届く情報発信の手段や方法等の対策が必要である。

## ■話し合い その②

- (1) あなたが、住み続けたい・帰りたい・誇りに思えるまちにするために、改善すべきことなどを考えましょう。
- (2) その中で、自分たちにできることはどのようなことか考えましょう。

## [A班]

- ・駅前などを活用する  
カラオケ、ボウリング、飲食店、デリバリー、入りやすいカフェなど(電車の待ち時間に…)
- ・行事の情報発信の強化  
ポスターをはる(まちなか、駅など) インスタ←高萩の名所など高校生による発信
- ・高萩市にある中学校全体の行事  
高萩の施設を使用、生徒会との連携
- ・給食のおいしさを伝える!
- ・山に直通のバスがほしい←割引券がもらえる(まちなかのお店に寄ってもらえる)

### 〈メモ〉

◎高萩と日立の給食を食べたが、高萩の方がおいしかった。スタミナ焼きなど人気メニューもある

◎中学校を卒業すると、仲の良い友達とは連絡をとりあうが、そうでない人とは連絡をしなくなるので、行事があればみんなが集まれる

## [B班]

- ・服屋を増やす→若い人の、試着ができる店
- ・遊ぶ所をつくる→カフェ（水戸みたいに学生が運営して集まり、勉強できる）、ゲーセン、ボウリング、カラオケ、ゼビオ、映画館、ダイソー
- ・イベントをもっと盛り上げる  
市と学生たちが一緒に計画、実行する  
お祭りを2日間に、花火をもっと盛大に（SNSでみんなに発信、特にインスタ）  
成人式
- ・住み続けると何かがもらえる→お金
- ・空き地の利用→広い公園で中が遊具、周りが散歩コース
- ・大きい商業施設をつくる
- ・ボランティア活動を若い世代で増やす
- ・子育て支援→市の託児所を作る、今ある幼保、学童へ学生がボランティアに行く  
寺子屋みたいな場所または回数を増やす。絵本などの回収、配布
- ・いろいろなスポーツができる所（無料の施設）

## [C班]

- ・駅の近くでアクセスの良い商業施設を建てる（カラオケ・映画館）
- ・バスの本数を増やして料金も下げ、利用しやすくする
- ・市内や市外の目につく所（駅・学校配布・SNS）にPRポスターを貼る
- ・空き地（空き家）を利用する カフェ、借りられる場所→バイト、商品開発  
写真スポットを作る（花畑など） 花を植える
- ・子育て支援を充実させる 託児所・祝い金（高萩は低い？）など

## [まとめ]

3グループに分かれて話し合った結果、駅近くに遊ぶ所(カフェ、カラオケ、映画館など)のニーズの高さや空き地や空き家の利用方法についての意見が挙げられた。また、イベントを盛り上げるために自分たちにできることや効果的な情報発信は、若者との協働により現代社会に対応できる可能性がある。学生として協力できる子育て支援や、移動手段としてのバスの充実など、高萩に住み続けたい・帰りたい・誇りに思えるまちにするために改善すべきことが数多く挙げられた。これらから、実現させたいことを5つ選び、未来絵日記としてまとめた。

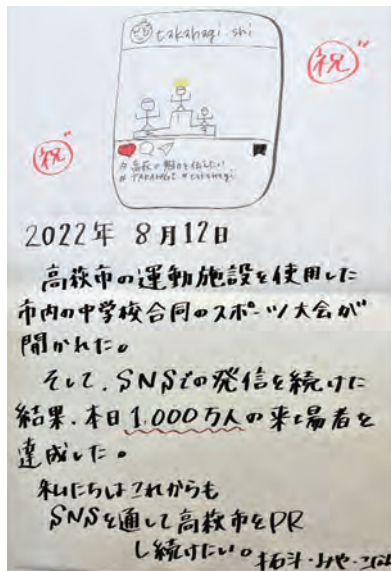


## ■話し合い その③

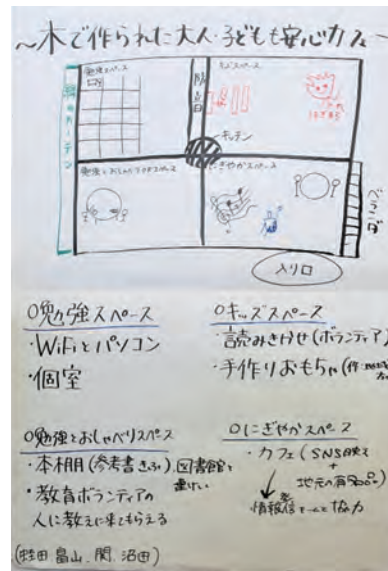
高萩市が、“住みたいまち”になるためにはこれを実現させるべき！と思うことを選び、想像を膨らませながら「未来絵日記」としてまとめましょう。

### [私たちが描く5つの未来絵日記]

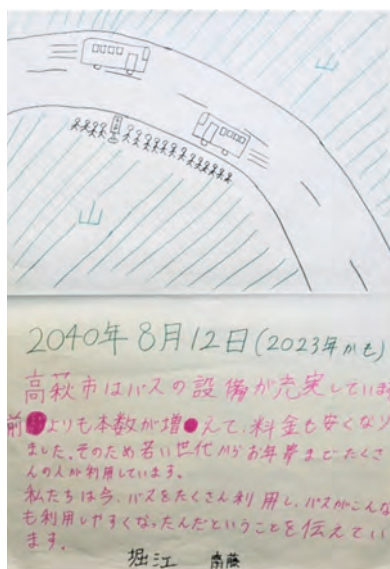
#### 1 情報発信



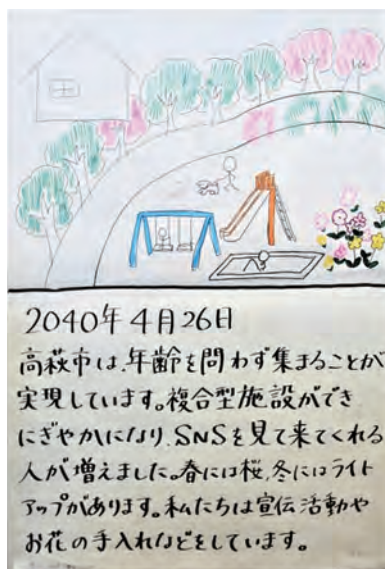
#### 2 駅前カフェ



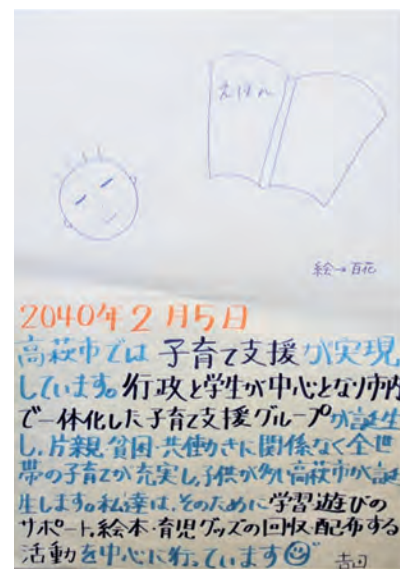
#### 3 バス利用



#### 4 空き地・空き家



#### 5 子育て支援









---

## 第2期高萩市創生総合戦略

編集・発行：高萩市 企画部地方創生課  
住 所：〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1  
電 話：0293-23-2127  
F A X：0293-23-3451  
U R L：<https://www.city.takahagi.ibaraki.jp/>  
発行年月：令和3年3月

---



見やすいユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。